

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 25 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 10 月 8 日 作成

事務事業名	農道・用排水路整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり	所属部	産業振興部	課長名 渡邊直美	
	施策	11	農業の振興	所属課	農政課	担当者名 安武栄一	
	基本事業	31	経営力の強化・生產品の価格安定	所属班	農地整備班	(内線) 1164	
予算科目	会計 1	款 6	項 1	目 12	事業連番 10269	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 3 コスト削減優先度評価結果 11*1
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度)						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							
<b>【事業の内容】</b> ・農道や用排水路を整備するための事業(荷傷み防止・埃がたないよう・作業効率アップ) <b>【業務の流れ】</b> ①要望(区、農業者、行政)②現地確認③測量、設計の発注④地元説明会の実施⑤工事発注手続き及び実施⑥完了検査⑦施工ヶ所の現場状況把握 <b>【主な予算費目】</b> 6-1-12-13 委託料、6-1-12-15 工事請負費より支出							

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 業務の内容に同じ。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度に同じ。
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・事業参加住民 ・農地・農業用施設	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 地元要望の数 件 イ 地元説明会 回
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・安定した収入を確保できる。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 受益農家数 戸 イ 施工・委託延長 m
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) ・安定した収入を確保できる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 受益農家に占める認定農業者の割合 % イ 施工・委託延長 %
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 生産農業所得 円 イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ～ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  目 標 合 計 値 画  22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	20,127	15,900	25,200	25,200	24,200	24,200		24,200
		その他	千円					260			
		繰入金	千円								
	一般財源	千円	4,997	5,450	3,941	3,477	5,081	5,341	5,341		
	(A) 事業費計	千円	25,124	21,350	29,141	28,677	29,541	29,541	29,541		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費	正規職員従事人数	人	5	4	4	4	4	4		4
	延べ業務時間	時間	840	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
	(B)人件費計	千円	3,335	3,980	3,980	3,980	3,980	3,980	3,980		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	28,459	25,330	33,121	32,657	33,521	33,521	33,521		
	活動指標	ア 件 イ 回	10 3	10 3	10 3	10 3	10 3	10 3	10 3		
	対象指標	ア 戸 イ m	100 1500	100 1500	100 1500	100 1500	100 1500	100 1500	100 1500		
	成果指標	ア % イ %									
	上位成果指標	ア 円 イ									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

地区からの要望等。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

変化は見られない。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

地区の要望も考慮し施工した。(雨水防止対策や交通安全対策)

事務事業名	農道・用排水路整備事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 農業振興の政策。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 効率的な農業経営の為に、基盤整備を行うことは公共団体の責務である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 補助事業や単独事業で施工し、補助要綱・地元協議を基本に施工している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 未整備地区や施設の老朽化も進んでおり、農業基盤の均衡を図る上でも廃止できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業なし <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率的 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 基本的に単年度事業であり、成果も達成された。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 基本的に単年度事業であり、成果も達成された。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 受益者負担の検討余地がある。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 今後は、実際に使用する地元(地権者)からの受益者負担も視野に入れ、活動を行っていく必要がある。
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率的性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	→

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率的改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	3	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )